

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

ぼくのねがい
 神山小学校 六年 溝口 大地
 今から五年ほど前のことでした。ぼくは初
 めてヤクスギランドへいところへ行きました。
 まだ一月だったので、雪がたくさん積もつて
 いました。車を走らせていると何か動いてい
 る物を見つけました。よく見てみると、そこ
 にはシカの親子がいました。ニヒキとも雪の
 上で気持ちよさそうにね転んでいました。
 その時、ぼくたちは、ヤクスギランドの百
 ハ十分コースに行きました。
 入ると、いきなり「ゴール」という音が聞こ
 えしました。もう少し歩くと、さらにその音は
 大きく感じてきました。そして、歩いて十分
 ぼくは川に着きました。とても水がすきとお
 っていて、きれいでした。虫の鳴き声も聞こ
 えてきました。もうしばらく歩くと、木々も
 増えてきました。ぼくはそんな所のきれいな
 空気を、「すー」とすいました。とてもおい
 しい空気でした。

(不許複製)

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

それから一時間半ぐらい歩いて、小花歩道に入るよ、ゴミが雪の中に埋まっていた。その後もところどころにいろいろなゴミを見つけてきました。ぼくはこのとき、こんなにゴミが落ちていたら、屋久島の人気もなくなるなと思います。しばらく歩いていると、後ろから、おばさんがトングとゴミぶくろを持ってゴミを探していました。

このせいという活動しながら周るのは、とてもいいことだと思いました。

ぼくは、ヤクスギランドで入場料をとるのではなく、入るときにふくるとトングをおたして、五個以上ゴミをひろって設置したゴミ箱に入れ、ゴミをなくす活動をすればいいなとぼくは思いました。この活動を通して、いままでゴミをすてていた人も、この活動を見て、すてなくなるなと思いました。ぼくは、このヤクスギランドが未来に、ゴミがなく、お客さんが気持ちよく帰ることができるような場所になってほしいです。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

